

NAREC

newsletter

No.78

2023 Winter

環境教育委員長あいさつ

ふるさとの未来を創る！
環境や自然に関わる将来を探求する～環境系学生未来塾～

身近な自然を守る！
環境保全活動レポート

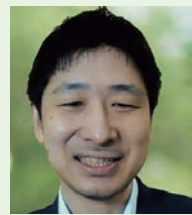
学生限定レンジャーズ活動報告
書籍の紹介



カワセミ (埼玉県さいたま市)

Photographed by Fukashi Oguchi

環境教育委員長あいさつ



理事 小堀 悠

平素より、NARECおよび環境再生医の活動にご参加、ご協力いただきありがとうございます。
環境教育委員会では、「環境再生医」資格の運営と大学等の教育機関との連携による環境教育の普及に取り組んでいます。

今年の1月には、環境再生医の資格認定講習（試験含む）をオンラインで開催し、全国から100名以上の方にお申込みをいただき、これまでの資格取得者数も6,000名を超えています。

昨年度にSDGs視点の資格として一部制度の改定をおこない、環境再生・復元に専門的に携われる方々に加え、福祉、医療、交通、観光、ICTなど様々な分野で自然環境に関わる方からのお申込が増えています。
多様な方々との連携により、環境再生・復元活動に一層取り組んでまいります。
今後とも引き続き、温かいご理解とご協力の程をよろしくお願い致します。

事業レポート 1 ふるさと未来創造プロジェクト 環境や自然に関わる将来を探求する～環境系学生未来塾～



▲自分の価値観を整理する対話

環境系学生未来塾(以下、未来塾)は、「自分の意志で、環境問題を解決し、より豊かな社会の創造に関わる人生を選択できる環境系学生(環境分野を学ぶ大学生・環境問題に関心のある大学生)の育成」を目的に、以下の3本を軸とした3泊4日のプログラムです。

- ①地域の自然・文化について学ぶ
- ②地域内で、環境問題・地域課題解決を目指し、働いている大人の仕事観・人生観を学ぶ
- ③学生自身がどのように生きていくか、自分の関心のある社会課題とどのように関わるかを深める

未来塾は、鹿児島県屋久島町で過去10回開催されてきました。今年度



▲薪割り作業



▲地域の大人と人生観について話をする

は屋久島での未来塾の発起団体であるNPO法人 HUB&LABO Yakushimaの協力のもと、長野県泰阜村、大分県耶馬溪町での展開に挑戦しています。

2022年9月12日(月)～15日(木)に環境系学生未来塾 in 泰阜村を開催しました。長野県泰阜村ではNPO法人グリーンウッド自然体験教育センター(以下、グリーンウッド)との共同開催として、大学生8名を受け入れることができました。泰阜村で行われてきた暮らしの体験をしたり、グリーンウッドの立ち上げやそこで働く人たちの人生についてお聞きしたり、自分たちはどう生きていきたいのかを深ぼりする対話のワークを通して、充実した3泊4日を過ごすことができました。

参加者は薪割りや泰阜村での食材を使った料理づくりなどを通して、自分の暮らしは自分の手で豊かにできるということを体感することができました。また、「普段は自分の将来の悩みや不安を話せる人がいないので、聞いてもらったことで整理できた」、「新卒で泰阜村で働く選択肢を知って、自分ももっと暮らしたい場所を迫り、将来について考えたいと思った」という声も届いています。

2023年2月には大分県耶馬溪町での未来塾も予定しています。その土地らしさ、住む人たちの魅力を取り入れ、地域ごとに特色のある未来塾を展開していく予定です。

(ふるさと未来担当 石黒)

事業レポート 2 レンジャーズプロジェクト 環境保全活動レポート (2022年10月)

植樹祭 in 海のふるさと公園

沖縄県糸満市の海のふるさと公園にて、米国のNGOと外資系企業との協働で植樹祭を開催しました。当公園には、糸満海人工房・資料館や漁師住宅風古民家もあり、海人文化を知ることのできる貴重な場所であるとともに、漁港施設で働く人々はじめ多くの市民の憩いの場となっています。

当日は、外資系企業の沖縄支社の社員50名とご家族10名の計60名が3班に分かれて、木本類8種31本、草本類3種126株を植えることができました。漁や暮らしに使われるアロエやギョボク、サガリバナ、モンパノキなどの樹木、グランドカバーにヒメキランソウなどの植物を植栽しました。

海人の道具や暮らしに関わりのある樹木を新たに植樹することにより、海・漁業と木の関係を理解する公園にしていきたいという、現地団体「NPO法人 ハマスーキ」さんの願いがこもっています。例えば、モンパノキは沖縄ではハマスーキと呼ばれ、ミーガンという水中眼鏡の材料としてかつては漁に使われていました。また、樹木と道具等の用途の関係性が書いてあるハマスーキさん作成の『植樹祭の手引き』も配布され、植樹後には海人工房・資料館も見学していただきました。

今回のプログラムを通して、海人文化や海と樹木の関係について知っていただく機会になりました。

(事務局 高野)



▲ヒメキランソウを植える前の床ごしらえ



▲植樹祭開会式



▲固い土を掘り起こし樹木を植える

DATA

- 日時 10月29日(土) 9:30～12:00
- 会場 海のふるさと公園 (沖縄県糸満市)
- 共催 キンドリル株式会社 One Tree Planted 認定NPO法人自然環境復元協会
- 協力 NPO法人 ハマスーキ

活動レポート

学生限定レンジャーズ! あなたは環境保全とどう関わる? ～身近な自然を守る現場で考えよう～

当協会のインターン生を中心に「学生限定」のレンジャーズ活動を開催。昨年度も学生限定のフィールド活動を開催しましたが、今回は環境保全活動に関心はあるものの関わり方がわからないという学生等を対象としました。

内容は、身近な自然についての勉強会と2回のフィールド活動。フィールド活動1回目は荒川砂村ポケットエコスペースにて河川敷の草刈り、2回目は鎌倉中央公園にて落ち葉掻きを行いました。

勉強会で身近な自然への理解を深めるとともに、参加者同士の交流やフィールド活動を通して、どのように環境保全に関わっていききたいかを考えるきっかけになったと思います。今後も自然環境保全に興味のある学生に活動を知ってもらえるよう、学生を対象とした活動を定期的に開催していきたいと考えています。

(事務局 掛ノ下)



▲フィールド活動1回目 河川敷での草刈り



▲フィールド活動2回目 ネットアクションを記した紙を持って

DATA

- 日時 オンライン勉強会 11月20日(日) 19:00～20:30
- 日時 フィールド活動1回目 11月27日(日) 10:00～12:00
- 日時 フィールド活動2回目 12月4日(日) 9:00～12:30
- 場所 荒川砂村ポケットエコスペース(東京都江東区) 鎌倉中央公園(神奈川県鎌倉市)
- 作業内容 草刈り、落ち葉掻き
- 現地団体 NPO法人ネイチャーリーダー江東 NPO法人山崎・谷戸の会

書籍の紹介

NARECからの推薦書籍です。

気になった書籍はぜひ手にとり読んでみてください。



市民科学のすすめ
小堀 洋美 著

(文一総合出版 2022)



カメスケの
かわいい水辺の
生きもの①
亀井 裕介 著

(やながわ有明海水族館 2022)



環境再興史
よみがえる
日本の自然
石 弘之 著

(角川新書 2019)



水辺の
プレイフル
インフラ
子どもの
水辺研究会
著

(技法堂出版 2022)

リボンドネーションにご協力ください

チャリティアイテムのご紹介です。リボンドネーションの公式サイトにてステッカーとアクリルチャームが販売されています。

ステッカーは車に貼れるタイプもあり、アクリルチャームはカバンやカギなどにつけてもオシャレなデザインでおすすめです。チャリティアイテムの購入が活動の支援に繋がります。

「NARECへの寄付モデル」は、こちらの写真以外にも全8種類のデザインを販売しています。

▶http://bit.ly/ribbonm_n



新規会員募集中

NAREC会員になって活動を応援しませんか。



運営会員:7,000円
協力会員:5,000円
交流会員:3,000円
賛助会員:10,000円



※初年度のみ入会金が発生します ▶https://bit.ly/narec_kaiin

ご支援のお願い

当協会の活動は会員の皆様や取り組みにご賛同くださった寄付者の皆様によって支えられています。いただいたご寄付は全国的に担い手不足となっている環境人材を応援し、都市部、農山漁村部の自然を未来に残します。



ご寄付について

以下口座やゆうちょ銀行、クレジットカードで受け付けています。

三菱UFJ銀行 神田支店
普通 5567029

口座名義
特定非営利活動法人
自然環境復元協会

▶https://bit.ly/narec_donate



YAHOO! ネット募金

Tポイント（期間限定ポイントも可）を使った寄付が可能です。
※詳細については下記ホームページをご覧ください。

▶https://bit.ly/narec_yahoo01



お宝エイド®

家にある不要なものを送ることでNARECの活動を応援できます！ 着払いで配送可能。無料で、気軽に、簡単に始められます。

※詳細や領収書については下記ホームページをご覧ください。

▶https://bit.ly/narec_buppin



[表紙]カワセミ (*Alcedo atthis*) 埼玉県さいたま市 : 年末の公園で、朝日の中の光と影のコントラストが印象的でした。生息場では水辺の枝や杭で小さな魚やエビなどを狙う姿がよく見かけられます。岸の垂直な土手に横穴を掘って営巣しますが、このような環境が保全されていれば、都市公園などでも見ることができます。(理事 小口深志)